

所在地：中央新町3番17号(本渡中央銀天街アーケード内)
開所日：月～金曜日(祝日、年末年始を除く) 9:00～17:00

相談予約・問い合わせ ☎24-5555

イタリア野菜を栽培する農園で 6次産業化を進める支援事例を紹介

佐伊津町の岡村農園で加工部門の長をされている井上さんが、「農園で栽培した野菜を使った6次産業化商品を開発したい」、「農家レストランを経営したい」という2つの夢をもって相談にいられました。



岡村農園のバジル畑



早く天草の名物として認めてもらえるようがんばります

井上 政哉 さん
岡村農園加工部門(ハンドメイド)長

同農園は、バジルやイタリアンパセリなどのイタリア野菜の減農薬栽培を手掛ける元気な農家。新しい種の試験栽培などの実績も評価されています。アマビズでは、まずは同農園の加工商品開発を実現するため、さまざまな食材相談のアドバイスを、アマビズの松田フー ドアドバイザートともに行いました。珍しいイタリア野菜という魅力だけでなく、同農園の野菜はどれもすばらしく、農産物で

ない安心安全への心配りも「売り」になると感じました。なかでも特に可能性を感じる事ができた「バジル」の商品開発を進めました。早速、市内のフレンチレストランで、このバジルを使ったシャーベットのメニューに入れてもらったところ、「爽やかなバジルの香りが口の中で広がっておいしい」と好評でした。そこで、バジルペーストの加工場の整備に着手。整備費は市の6次産業化の補助制度を活用し支援しました。東京渋谷と横浜に店舗を持つ飲食店「天草市場 島旅」への継続的な販売や、天草宝島物産公社を通じ、さまざまなバイヤー(仕入担当者)、飲食店、ホテルなどに紹介してもらいな

ど、販路開拓の支援も行っています。また、従業員の確保の支援にも取り組んでいるところですよ。岡村農園さんには、まだまだたくさん素材があり、さらなる商品開発、販路開拓の道が開けていきます。また、井上さんは、「イタリアン農家レストラン」の開設のため、経営のスキルも学びたいと向上心に燃えておられます。アマビズも井上さんへの支援を引き続き行っていきます。



バジルのペースト

センター長の内山です!



「天草の崎津集落」 世界遺産登録への道

Road to World Heritage

崎津集落に残る
潜伏キリシタンの信心具を紹介!

Vol. 3

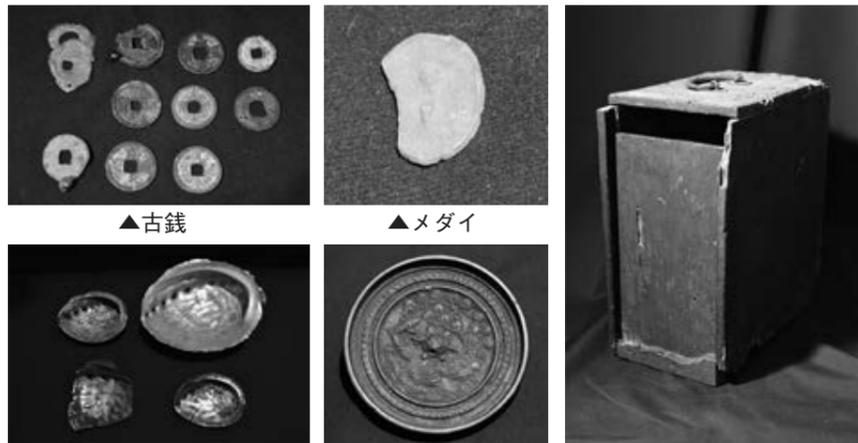
潜伏時代に信仰のリーダーを務めた家に伝わる信心具

今回は崎津集落に残る潜伏期の信心具について紹介します。

17世紀、キリスト教禁令が全国に発布されると、キリシタンらは密かに信仰を継続しました。当時は宣教師や神父は国外に追放されていたため、信者のリーダーとなった信仰指導者「水方」を中心に独自の信仰を育みました。

崎津ではアワビの貝殻の模様をマリア様として崇拝したり、古銭や石鏝などで拾ったもの、鏡などを信仰の対象としてまつていました。

この信心具は、最後の水方を務めた個人宅で大切に保存されています。



▲古銭

▲メダイ

▲アワビの貝殻

▲和鏡

▲信心具を納めた木箱

水方屋敷に伝わる信心具

※崎津資料館みなと屋に常設展示していません。(次回の提示予定は9月頃)

世界遺産登録 トピックス

ユネスコに推薦書を提出!

1月20日の閣議で国内推薦が正式に決定した「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。ユネスコ世界遺産センターに推薦書(正式版)を提出し、2月1日に受理されました。

推薦書には、『16世紀の大航海時代を背景にキリスト教が日本へ伝来、その後の江戸幕府の禁教政策の中で密かにキリスト教の信仰を継続した「潜伏キリシタン」が、既存の宗教や地域社会と共生しながら、独特の文化的伝統を育んだことを物語る資産である』と記載されており、まさに、漁村特有の信仰を育んだ「天草の崎津集落」が中核の資産ということになります。

◆(参考)今後の予定

平成29年9月頃
イコモス(国際記念物遺跡会議)による現地調査

平成30年5月頃
イコモスによる評価結果の勧告

平成30年夏
第42回世界遺産委員会において審議

【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室(河浦支所内) ☎761116